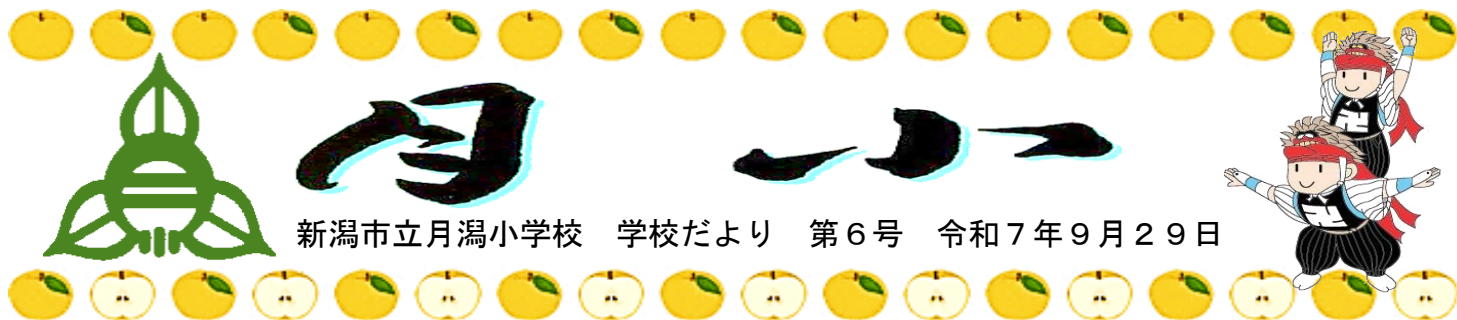




収穫の秋 ～進んで取り組む姿をめざして～

教頭 植村 健太郎

朝晩涼しくなり、校内も過ごしやすくなってきました。月潟小学校では、地域の方々からご指導いただきながら、梨の収穫や稲刈り等の体験学習が真っ盛りです。子どもたちは活動するうちに笑顔になり、「やってみよう。」「やってみたい。」と主体的になっていきます。そんな光景が見られるのも「収穫の秋」の喜びの一つだと思います。



さて、私たち月潟小学校は、重点目標である「自ら学び 明るく強く 伸びる子ども」の姿を実現するため、授業改善に取り組んでいます。全ての学習時間に体験学習を取り入れることは難しいのかもしれませんが、授業が少しでも子どもたちの主体的に取り組む姿につながるよう研修を進めています。そこで今回は、月潟小学校の職員研修について紹介します。

研究主題 「自ら進んで課題を見つけ、よりよく問題解決する児童の育成」

研究主題の子どもの姿に到達するため、学ぶ目的や目標を明確にもち、自信をもって他者と対話しながら課題解決する子どもを育成していくことが必要であると考えています。

そこで今年度は、「子ども一人一人に考えをもたせるための手立て」や「協働的・対話的な学びを促す手立て」の2つの視点で授業研究を行っています。

授業研究当日には、上学年部、下学年部の授業をお互いに見合い。子どもたちの姿から授業中の手立てについて評価し合います。合わせて、研究授業前には、学習指導案を作成してよりよいアイデアを出し合ったり、授業後には、子どもたちの姿から代案を考えたりしてお互いに高め合っています。



これらの取組が、いつか実を結び、月潟小学校の子どもたちの成長や笑顔、主体的な姿につながっていったら本当に幸せです。私たち職員にとってそれが一番の「収穫の喜び」です。

子どもたちの様子

<9月3日・4日 5年生自然体験教室>

5年生は、1泊2日で胎内市の新潟県少年自然の家へ行ってきました。1日目は、野外炊さんでカレーうどん作りをしたり、オリエンテーリングで森の中を歩き、チェックポイントを探したりしました。夜はキャンプファイアで火の儀式やスタンプを楽しみました。2日目は、胎内川でカヌー体験をしました。青空の下、気持ちよくパドルを漕いで水面を進むことができました。自然と親しみながら、友達と協力して活動することができました。



<9月16日(月) クルーズ班活動>

全校遠足に向けて、企画委員会がクルーズ班で楽しめる活動を計画・運営しました。校内の様々な場所で、クイズやジェスチャーゲーム、大縄など、工夫を凝らしたチャレンジ活動が出されました。リーダーを中心に、ビンゴカードを見て、どこに行くとビンゴが達成できるかを相談しながら、チャレンジ活動に取り組みました。みんなで協力し、見通しをもって活動する練習ができました。



<9月26日(金) 全校遠足 新潟県立自然科学館>

今年の全校遠足は、新潟県立自然科学館へ行きました。クルーズ班ごとに「自然の科学」「生活の科学」などに分かれた館内を歩き、ビンゴカードに書かれているお題にチャレンジしました。6年生を中心に、みんなで協力してやってみたり、時には自信のある人が代表で挑戦してみたりと、班で考えながら楽しみました。「これ知ってるよ」「よくできたね」など、見学や活動を通して、班のメンバーのいいところを発見することもできました。



「月潟小ブログ」

日々の学校の様子をブログで公開しています。
是非、お気に入りへの登録をお願いします。
<https://blog.city-niigata.ed.jp/tukigatainaho/>

